

●臨時休業明けの年間指導計画参考資料

〈3年〉

学校の授業以外の場において行うことが考えられる学習材・学習活動

4～5月 (8時間)							
	領域 (系統)	学習材名・ページ数・配当時間	学習指導要領との対応	学習目標	配分	学習活動例 (*は指導上の留意点や別案)	評価規準例 (〔 〕は学習活動例との対応)
	読む (詩(巻頭詩))	生命は 巻頭 1時間	指C(1)ア 〔伝・国イ(イ)〕	・詩の意味や効果的な表現を捉え、読み方を工夫して音読する。	0.2 (10分) 0.8 (40分)	1 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。 2 詩の意味や効果的な表現を捉え、文末表現などに注意して、読み方を工夫して音読する。	□詩に込められた意味や効果的な表現を捉え、文末表現などに応じて読み方を工夫しながら音読している。〔2〕
1 言葉 を 磨 く	読む (言語感覚)	二つのアザミ P18 1時間	指C(1)ア 〔伝・国イ(イ)〕	・表現の工夫に注意して、筆者の考えを捉える。	0.4 (20分)	1 タイトル下(P18)を見て、学習目標を確認する。 2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字や語句を確認する。	□対比的な表現などに注意して、筆者の主張を捉えている。〔3〕
					0.6 (30分)	3 アザミに関する対比的な表現などに注意して、筆者の考えを捉える。	
	読む 俳句の読み方、 味わい方 P21 2時間	指C(1)ア 指C(1)ウ 〔伝・国イ(イ)〕	・表現の工夫に着目して、俳句を読み味わう。 ・俳句のよさを評価してまとめる。	0.4 (20分) 0.6 (30分) 1	1 タイトル下(P21)や「てびき」(P25)を見て、学習目標を確認し、学習の見通しを持つ。 2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字や語句を確認する。 3 「読み取る」設問①(P25)に取り組み、三句の俳句について内容を捉え、音読して読み味わう。 4 「読み取る」設問②に取り組み、「俳句五句」のそれぞれの句に詠まれている情景や心情を想像したり、気に入った句を暗唱したりする。 5 「考えを深める」設問③に取り組み、「俳句五句」(あるいは、「扉の俳句七句」を加えた十二句)から一句を選び、その句のよさを取り上げて、鑑賞文をまとめる。 *「言葉の力 俳句を鑑賞する」を読んで、俳句を鑑賞するときのポイントを理解する。	□俳句という形式の特徴を理解するとともに、鑑賞文中の三句や「俳句五句」の内容を捉え、音読・暗唱して読み味わっている。〔3～4〕 □「俳句五句」や「扉の俳句七句」から一句を選び、読み取ったことや想像したこと、表現の工夫など、その句のよさを評価して鑑賞文にまとめている。〔5〕	
書く (詩歌創作)	俳句を作って句会を開こう P26	指B(1)エ	・俳句を作って互いに読み合い、作品のよさを評価する。	2	1 学習目標(P26)を確認し、学習の見通しを持つ。 2 手順①～②(P26～27)に取り組み、俳句を作って句会を開く。	□俳句を作って互いに読み合い、情景や心情の表し方、表現の新鮮さなど、作品のよさを見つけ	

	2時間	〔伝・国イ(イ)〕			*「言葉の力 読み合って評価する」(P27)を読んで、俳句を読み合って評価するときのポイントを確かめる。	て評価している。〔2〕
言葉 (日本語探検)	和語・漢語・外来語 P28 1時間	〔伝・国イ(イ)〕	・和語・漢語・外来語の特徴について理解する。	1	1 学習材(P28～29)を読んで、和語・漢語・外来語の区別や、それぞれの特徴について理解する。適宜、漢字を確認する。 2 「問題」①～②(P29)に取り組む。	□和語・漢語・外来語の区別や、それぞれの特徴について理解している。〔1～2〕
言葉 (文法の窓)	間違いやすい敬語——おかしい敬語を見つけ出せ P30 1時間	〔伝・国イ(ア)〕	・間違いやすい敬語に注意し、正しい敬語の使い方を理解する。	0.2 (10分)	1 学習材(P30)を読んで、例文の中から敬語の使い方の間違いを探す。また、「考えよう」に取り組む。適宜、漢字を確認する。 *Dこの学習材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。	□尊敬語と謙譲語の使い分けや敬語の使い過ぎなど、間違いやすい敬語の使い方に注意し、正しい敬語の使い方を理解している。〔1～2〕
				0.8 (40分)	2 基P254～「間違いやすい敬語」を読んで、正しい敬語の使い方について理解を深める。また、「問題」(P255)に取り組む。	

5～6月 (11時間)							
	領域 (系統)	学習材名・ページ数・配当時数	学習指導要領との対応	学習目標	配分	学習活動例 (※は指導上の留意点や別案)	評価規準例 (〔 〕は学習活動例との対応)
2 作品を論じる	読む (文学一)	形 P32 3時間	指 C(1)イ 指 C(1)ウ 〔伝・国イ(ア)〕 話 C(2)ア	<ul style="list-style-type: none"> ・場面や登場人物の設定の仕方を捉えて、作品を読み味わう。 ・場面の展開や表現の仕方に着目し、作品を評価する。 	1	1 タイトル下 (P32) や「てびき」(P36) を見て、学習目標を確認し、学習の見通しを持つ。 2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字や語句を確認する。	<input type="checkbox"/> 場面ごとの新兵衛の考えを捉えるとともに、形の持つ力について考えたことを挙げている。〔3〕 <input type="checkbox"/> 「形」の人物像や場面展開、表現の仕方などの特徴を見つけ、その工夫や魅力を評価してまとめている。〔4〕
					1	3 「読み取る」設問①～③ (P36) に取り組み、場面や登場人物の設定の仕方、人物の考えや心情を捉えて作品を読み味わう。	
					1	4 「考えを深める」設問④に取り組み、古典作品「松山新介の勇将中村新兵衛が事」(P37) と読み比べ、「形」の内容や表現の特徴を捉えたうえで、この小説の工夫や魅力についてまとめる。 ※「言葉の力 作品を批評する」(P36) を読んで、小説などの文学作品を批評するときのポイントを理解する。 ※〔資〕P283「書評に親しもう」を参考に、「形」や次の「百科事典少女」などを取り上げて書評を書いてみるのもよい。	
		百科事典少女 P38 4時間	指 C(1)イ 指 C(1)ウ 〔伝・国イ(イ)〕 話 C(2)ア	<ul style="list-style-type: none"> ・場面や登場人物の設定の仕方を捉えて、作品を読み味わう。 ・場面の展開や表現の仕方に着目し、作品を評価する。 	1	1 「てびき」(P50) を見て、学習目標を確認し、学習の見通しを持つ。 ※「形」と共通の学習目標であり、前の学びを生かしていくことを確認するとよい。 2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字を確認する。	<input type="checkbox"/> Rちゃんや紳士おじさんなどの人物の設定に注意して、場面ごとの人物の思いを捉えている。〔3〕 <input type="checkbox"/> 作品の最後の部分の意味や効果について、考えたことを挙げている。〔4〕
				2	3 「読み取る」設問①～② (P50) に取り組み、場面や登場人物の設定の仕方、人物の考えや心情を捉えて作品を読み味わう。 4 「考えを深める」設問③に取り組み、作品の最後の部分の展開や表現を捉え、その意味や効果について話し合う。 ※「言葉の力 作品を批評する」(P36) を参照し、ポイントを振り返るとよい。		
					0.7 (35分)		

				0.3 (15分)	5 「広がる言葉／広がる漢字」(P51)に取り組み、語彙を増やし、漢字を確認する。 * 資 P303～「言葉を広げよう——批評する言葉」を見て、語彙を増やすための参考にするとよい。 *この学習材に加えて、 資 P264～「風の唄」を読み、人物どうしの関係を捉える学習を深めたり、作品を批評したりするのもよい。	
話す・聞く 〈聞く〉	評価しながら聞く P52 2時間	指 A(1)ウ 伝・国 イ(イ) 活 A(2)ア	・さまざまな観点から評価しながら聞き、自分の考えや表現に生かす。	2	1 学習目標(P52)を確認し、学習の見通しを持つ。 2 手順①～②(P52～55)に取り組み、さまざまな観点から評価しながらスピーチを聞く。 *「言葉の力 話をさまざまな観点から評価する」(P55)を読んで、聞き取ったことを評価する際のポイントを確かめる。 * D この学習材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。	<input type="checkbox"/> さまざまな観点から評価しながらスピーチを聞き、自分の考えをまとめている。〔2〕
言葉 〈日本語探検〉	連語・慣用句 P56 1時間	伝・国 イ(イ)	・連語や慣用句について理解する。	1	1 学習材(P56～57)を読んで、連語や慣用句について理解する。適宜、漢字を確認する。 2 「問題」①～②(P57)に取り組む。	<input type="checkbox"/> 連語や慣用句について理解している。〔1～2〕
言葉 〈漢字道場〉	熟語の構成・熟字訓 P58 1時間	伝・国 ウ(ア) 伝・国 ウ(イ)	・熟語の構成や熟字訓について理解する。	0.5 (25分) 0.5 (25分)	1 「熟語の構成」「三字熟語」(P58～60)を読んで、二字熟語および三字熟語の構成について理解する。また、「熟字訓」(P60)を読んで、熟字訓について理解する。 2 「問題」①～⑥(P58～60)に取り組む。	<input type="checkbox"/> 二字熟語と三字熟語の構成や、熟字訓について理解している。〔1～2〕

6～7月 (14時間)							
	領域 〈系統〉	学習材名・ページ数・配当時数	学習指導要領との対応	学習目標	配分	学習活動例 (※は指導上の留意点や別案)	評価規準例 (〔 〕は学習活動例との対応)
3 文章の展開を考える	読む 〈構成・展開〉	絶滅の意味 P62 4時間	指C(1)イ 指C(1)エ 〔伝・国イ(イ)〕	・論の進め方に着目して、筆者の主張を捉える。 ・人間社会と自然との関わりについて考え、自分の意見を持つ。	1	1 タイトル下 (P62) や「てびき」(P71) を見て、学習目標を確認し、学習の見通しを持つ。 2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字や語句を確認する。	□文章を三つのまとまりに分け、論の進め方を捉えている。〔3〕 □「現代の絶滅」を引き起こしてきた人間社会の在り方と、生態系の維持との関係について、自分の意見をまとめている。〔4〕
					2	3 「読み取る」設問①～③ (P71) に取り組み、論の進め方を捉え、文章の内容を読み取る。 *「言葉の力 説得力を高めるための論の進め方を捉える」を読んで、説得力を高めるための論の進め方について理解する。 *次の「論理的に読む」(P73/基P240～)を扱う際に、関連を意識させるとよい。	
					0.7 (35分) 0.3 (15分)	4 「考えを深める」設問④に取り組み、人間社会と自然との関わりについて自分の意見を書く。 5 「広がる言葉／広がる漢字」(P72)に取り組み、語彙を増やし、漢字を確認する。 *資P305～「言葉を広げよう——硬い言葉・学術的な言葉」を見て、語彙を増やすための参考にするとよい。 *この学習材と併せて、資P277～「知床——流水を巡る循環」を読み、文章の書き方を比べたり、人間社会と自然との関わりについて考えたりするのもよい。	
	学びの扉 〈論理的な言葉の力／分析する力〉	論理的に読む P73 1時間	指C(1)イ	・文と文、段落と段落などの関係を考えながら、文章を論理的に読む。	1	1 学習材 (P73) を読んで、論理的に読むために注意すべき三つの関係について知る。 2 基P240～「論理的に読む」を読んで、文や段落どうしの関係を考えながら文章を論理的に読むことについて理解を深める。また、「練習しよう」(P242)に組み込む。	□論理的に読むための三つの関係を理解し、文章を論理的に読んでいる。〔1～2〕
	学びの扉 〈創造的な言葉の力／	素材を生かして表現する P74	指B(1)ア	・体験と知識を、表現の素材として生かす。	1	1 学習材 (P74) を読んで、例文の中で体験と知識が生かされているところを挙げる。 2 基P249～「素材を生かして表現する」を読んで、体験と	□体験と知識を関連づけながら素材を探して表現に生かすことについて理解している。〔1～2〕

表現する力)	1 時間				知識を関連づけながら素材を探して表現に生かすことについて理解を深める。また、「練習しよう」(P251)に取り組む。	
書く 〈伝達〉	編集して伝えよう——「環境」のミニ雑誌 P 75 5 時間	指 B(1)ア 指 B(1)ウ 〔伝・国ウ(イ)〕 活 B(2)イ	・知識や体験をもとに、構成を工夫し、内容を膨らませて文章を書く。 ・書いた文章を読み返し、推敲して紙面を仕上げる。	2 1 2	1 学習目標 (P75)を確認し、学習の見通しを持つ。 2 手順① (P76)に取り組み、グループでテーマを設定し、その中で個人の題材を決め、書く材料を集める。 * 資 P298～「話すこと・書くこと 題材例」を見て、題材探しの参考にするのもよい。 3 手順② (P77)に取り組み、文章形式と構成を考え、下書きをする。 * 「言葉の力 内容を膨らませて書く」(P77)を読んで、知識や体験を材料として内容を膨らませて書くためのポイントを確認する。 * 前の「素材を生かして表現する」(P74/基 P249～)で学んだことを生かして取り組むとよい。 4 手順③～⑤ (P78～81)に取り組み、「環境」のミニ雑誌を作る。 * 「言葉の力 推敲して読みやすい文章に仕上げる」(P78)を読んで、推敲して読みやすい文章に仕上げるためのポイントを確認する。 5 「学習を振り返ろう」(P80)を読み、学習を振り返って自己評価をする。	□調べたことをまとめ直したり、体験を具体的に描写したりして、内容を膨らませるとともに、文章の形式を選んで構成を工夫して書いている。〔3〕 □下書きを検討し、言い換えたり、書き足したり、削ったりして、文章をよりよいものに直したうえで、丁寧に清書して紙面を仕上げています。〔4の③〕
言葉 〈漢字道場〉	四字熟語 P 82 1 時間	伝・国イ (イ) 伝・国ウ (ア) 伝・国ウ (イ)	・四字熟語の構成について理解し、さまざまな四字熟語を知る。	0.6 (30分) 0.4 (20分)	1 「四字熟語の構成」(P82～83)を読んで、四字熟語の構成について理解する。また、「数字を含む四字熟語・故事成語」(P83)を読んで、数字を含む四字熟語や故事成語である四字熟語があることを知る。 2 「問題」①～④ (P82～83)に取り組む。	□さまざまな構成の四字熟語を知り、数字を含むものや故事成語であるものについても理解している。〔1～2〕
読む 〈読書〉	落語の秘密 P 84 2 時間	指 C(1)オ	・読んだ本を紹介し合い、知識を広げ、自分の考えを深め	1	1 「本で世界を広げよう〈日本文化〉」のタイトル下 (P90)を見て、学習目標を確認し、学習の見通しを持つ。 2 「落語の秘密」全文を通読し、落語の成り立ちや落語家の	□読んだ本を紹介し合うことを通して、知識を広げ、自分の考えを深めている。〔3〕

				る。		技術について、分かったことや調べたことをノートにまとめる。適宜、漢字を確認する。 * D この学習材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。
		〔伝・国ウ(ア)〕 ⑧ C(2)ウ			0.8 (40分)	3 資 P 284「読書活動を楽しもう——ビブリオバトルをしよう」を参考に、今までに読んできた本の中からおすすめの一冊を選んで、グループ内で各自3分程度で紹介し合う。 *「落語の秘密」を紹介するという設定で、各自が紹介の仕方を考えて取り組むのもよい。
					0.2 (10分)	4 「読書案内」(P90～92)を読み、今後の読書生活の参考に

9～10月 (16時間)							
	領域 (系統)	学習材名・ページ数・配当時数	学習指導要領との対応	学習目標	配分	学習活動例 (※は指導上の留意点や別案)	評価規準例 (〔 〕は学習活動例との対応)
4 多面的に検討する	読む (吟味・判断)	黄金の扇風機 P94 サハラ砂漠の茶会 P98 4時間	指 C(1)ウ 指 C(1)エ 〔伝・国イ(イ)〕 活 C(2)イ	・文章を読み比べて、論の進め方や表現について評価する。 ・文章を読み比べて、文章の内容について自分の考えを持つ。	1 2 0.7 (35分) 0.3 (15分)	1 タイトル下 (P94) や「てびき」(P102) を見て、学習目標を確認し、学習の見通しを持つ。 2 「黄金の扇風機」「サハラ砂漠の茶会」全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字や語句を確認する。 3 「読み取る」設問① (P102) に取り組み、日本人とエジプト人の美的感覚に注意して、文章の内容を読み取る。 4 「読み取る」設問② (P102) に取り組み、筆者が体験から感じたことに注意して、文章の内容を読み取る。 5 「読み取る」設問③に取り組み、二つの文章に示されている「美」についての考えの共通点と相違点を見つける。 6 「考えを深める」設問④に取り組み、二つの文章の論の進め方や表現について比較し、話し合う。 7 「考えを深める」設問⑤に取り組み、二つの文章の内容を踏まえて、「美しさ」や「美」について自分の考えを書く。 * 「言葉の力 読み比べて自分の考えをまとめる」を読んで、複数の文章を読み比べる際の注意点を理解する。 8 「広がる言葉／広がる漢字」(P103) に取り組み、語彙を増やし、漢字を確認する。 * 資 P306 「言葉を広げよう——程度を表す言葉」を見て、語彙を増やすための参考にするとよい。	<input type="checkbox"/> 文章を読み比べて、論の進め方や表現について共通点や相違点を見つけ、評価している。〔6〕 <input type="checkbox"/> 読み比べたことを踏まえて、「美しさ」や「美」について自分の考えをまとめている。〔7〕
	学びの扉 (実用的な言葉の力／整理する力)	比較する P104 1時間	指 B(1)ア	・比較することを通して、物事を深く理解する。	1	1 学習材 (P104) を読んで、比較するときの観点について考える。 2 基 P234～「比較する」を読んで、比較の観点を多面的に考えることや比較の対象を選ぶことについて理解を深める。また、「練習しよう」(P236) に取り組む。	<input type="checkbox"/> 比較の観点や、比較の対象を的確に挙げている。〔1～2〕
	書く (論証・説得)	観察・分析して論じよう——批評文	指 B(1)ア	・批評の対象について、観察・分析したり、比較したりし	1 1	1 学習目標 (P105) を確認し、学習の見通しを持つ。 2 手順① (P106) に取り組み、対象を観察する練習をする。 3 手順②～⑥ (P107～111) を読んで、批評文の書き方を確	<input type="checkbox"/> 対象の特徴を観察し、表現効果や作り手の意図を分析したり、観点を決めて比較したりして、

	<p>P 105 5 時間</p>	<p>指 B(1)イ 指 B(1)エ 〔伝・国ウ(イ)〕 活 B(2)ア</p>	<p>て、自分なりの判断を下す。 ・論の進め方を工夫し、資料を参考にしたり引用したりして、説得力のある批評文を書く。 ・書いた批評文を読み合って評価し、ものの見方や考え方を深める。</p>	<p>1 1 1</p>	<p>認する。 *手順③で、マイボトルのポスターA～Cそれぞれについて観察・分析してみるのもよい。 *「言葉の力 複数の対象を比較する／説得力のある批評文を書く／批評文を評価する」(P109、110)を読んで、対象を比較して判断したり、批評文に説得力を持たせたり、互いの批評文を読み合って評価したりするためのポイントを確認する。 4 手順②～④に従って「問題」(P112～113)に取り組み、チョコレートポスターA～Cを観察・分析する。 *前の「比較する」(P104/基P234～)で学んだことを生かして取り組むとよい。 1 5 手順⑤に従って批評文を書く。 1 6 手順⑥に従って批評文を読み合い、評価する。 7 「学習を振り返ろう」(P113)を読み、学習を振り返って自己評価をする。</p>	<p>自分なりの判断を下している。 〔2、4の③～④〕 □根拠を具体的に記述して、結論が明快に伝わるように論の進め方を工夫するとともに、資料を参考にしたり引用したりして生かしている。〔5〕 □批評文を読み合って論の進め方や表現の工夫などを評価し、ものの見方や考え方などについて気づいたことを書き留めている。〔6〕</p>
<p>学びの扉 〈実用的な言葉の力／説明する力〉</p>	<p>目的や相手に応じて説明する P 114 1 時間</p>	<p>指 A(1)ア</p>	<p>・目的や相手に応じて必要な情報を判断し、分かりやすく説明する。</p>	<p>1</p>	<p>1 学習材(P114)を読んで、目的や相手に応じた説明の仕方を考える。 2 基P237～「目的や相手に応じて説明する」を読んで、目的や相手に応じて分かりやすく説明することについて理解を深める。また、「練習しよう」(P239)に取り組む。</p>	<p>□説明の目的や相手に応じて、不必要な情報や不足している情報を挙げている。〔1～2〕</p>
<p>話す・聞く 〈話す〉</p>	<p>場面に応じて話そう——条件スピーチ P 115 3 時間</p>	<p>指 A(1)ア 指 A(1)イ 〔伝・国イ(ア)〕</p>	<p>・体験や知識を整理し、目的や相手、時間を意識して、話す内容や話し方を考える。 ・敬語を適切に使い、場の状況や相手に応じた話し方をする。</p>	<p>0.6 (30分) 2.4 (120分)</p>	<p>1 学習目標(P115)を確認し、学習の見通しを持つ。 2 手順①(P116)に取り組み、社会生活とつながりのある体験を振り返り、話す材料を集める。 *資P298～「話すこと・書くこと 題材例」を見て、題材探しの参考にしてみるのもよい。 3 手順②～④(P116～120)に取り組み、話す場面を想定してスピーチをする。 *「言葉の力 目的や相手、時間を意識する／場の状況や相手の様子に応じて話す」(P117、119)を読んで、場面に応じて話すための準備をしたり実際に話したりする際のポイン</p>	<p>□目的や相手、時間に応じて自分の経験や知識を再構成し、聞き手に分かりやすい語句を選んでいく。〔3の②～③〕 □敬語を正しく使い、適切な言葉遣いで話すとともに、聞き手の様子に応じて、言い換えや補足など、理解を深めてもらう工夫をしている。〔3の④〕</p>

		活 A(2)ア			トを確かめる。 *前の「目的や相手に応じて説明する」(P114/基P237～)で学んだことを生かして取り組むとよい。 4 「学習を振り返ろう」(P119)を読み、学習を振り返って自己評価をする。 *Dこの学習材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。	
言葉 〈文法の窓〉	曖昧な文・分かりづらい文—— メールの真相 P121 1時間	伝・国イ(イ) 伝・国2年イ (ウ)	・曖昧な文や分かりづらい文になる原因を理解し、言葉遣いの感覚を磨く。	0.2 (10分)	1 学習材(P121)を読んで、文の意味の曖昧さを回避する方法を考える。また、「考えよう」に取り組む。 *Dこの学習材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。	□文の意味が曖昧で分かりづらくなる原因を知り、曖昧さを回避する手立てを理解している。[1～2]
				0.8 (40分)	2 基P256～「曖昧な文・分かりづらい文」を読んで、曖昧な文や分かりづらい文になる原因と、分かりやすい文の書き方について理解を深める。また、「問題」1～2(P257)に取り組む。	
言葉 〈漢字道場〉	送り仮名 P122 1時間	伝・国ウ(ア) 伝・国ウ(イ)	・送り仮名の付け方について理解する。	0.6 (30分)	1 「活用のある語」(P122～123)を読んで、活用のある語の、送り仮名の付け方の原則と例外について理解する。また、同じ漢字を使った互いに関連のある語の、送り仮名の付け方について理解する。 2 「活用のない語」(P123)を読んで、活用のない語の、送り仮名の付け方の原則と例外について理解する。	□活用のある語と活用のない語について、送り仮名の付け方の原則と例外を理解している。[1～3]
				0.4 (20分)	3 「問題」①～④(P122～123)に取り組む。	

10～11月 (12時間)							
	領域 〈系統〉	学習材名・ページ数・配当時数	学習指導要領との対応	学習目標	配分	学習活動例 (※は指導上の留意点や別案)	評価規準例 (〔 〕は学習活動例との対応)
	読む 〈詩(日本語のしらべ)〉	初恋 P 124 1時間	指C(1)ア 〔伝・国イ(ア)〕	・表現の特徴を捉え、リズムを感じ取りながら朗読する。	0.2 (10分) 0.8 (40分)	1 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。 *古語や文語文法による表現については、適宜、意味を確認する。 2 七五調など、表現の特徴を捉え、リズムを感じ取りながら朗読する。 3 「詩人と作品」(P126)を読み、島崎藤村について知る。	□七五調の文語詩という表現の特徴を捉え、リズムを感じ取りながら朗読している。〔2〕
5 伝 統 文 化 に 親 し む	古典	万葉・古今・新古今 P 128 3時間	〔伝・国ア(ア)〕 指C(1)ウ	・和歌が詠まれた背景や作者の心情を想像しながら、和歌の世界に親しむ。 ・和歌の意味や使われている技法に注意して、鑑賞文をまとめる。	1 1 1	1 タイトル下(P128)や「てびき」(P134)を見て、学習目標を確認し、学習の見通しを持つ。 2 和歌の解説(P128～129)を読み、和歌や代表的な歌集について知る。 3 「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」(P130～133)を読み、内容を大まかにつかむ。 4 「読み取る」設問①(P134)に取り組み、音読を通して和歌のリズムを味わう。 5 「読み取る」設問②に取り組み、「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」の和歌に詠み込まれた心情・情景を読み取る。 *古典コラム「和歌の修辞」(P134)を適宜参照し、表現効果を高める技法を確認する。 6 「考えを深める」設問③に取り組み、好きな和歌を一首選び、鑑賞文をまとめる。 *この学習材と併せて、〔資〕P288～「恋の歌」を読み、代表的な歌集の特徴を確認するのもよい。 *〔D〕この学習材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。	□和歌のリズムに注意して音読するとともに、歴史的背景などに注意して、それぞれの和歌に込められた意味を捉えている。〔4～5〕 □和歌の意味や修辞などに注意して、鑑賞したことをまとめている。〔6〕

<p>おくのほそ道 P 135 3 時間</p>	<p>伝・国ア (ア) 指 C(1)ウ</p>	<p>・当時の状況や作者の思いを捉え、古典の世界に親しむ。 ・構成や表現の特徴と、その効果について考える。</p>	<p>0.3 (15分) 1.2 (60分) 1.5 (75分)</p>	<p>1 タイトル下 (P 135) や「てびき」(P 143) を見て、学習目標を確認し、学習の見通しを持つ。 2 「おくのほそ道」の解説 (P 135) を読み、作品の成り立ちや概要を知る。 * 古典コラム「俳諧の歴史」(P 143) の内容にも触れ、俳諧や俳人についても確認する。 3 冒頭 (P 135～136) を読み、内容を大まかにつかむ。 4 「読み取る」設問①～② (P 143) に取り組み、音読を通して表現や文体を読み味わい、作者の旅への思いを読み取る。 * 『おくのほそ道』旅程図や「江戸から平泉まで」(P 137～140) を参照し、芭蕉の旅程を確かめるとともに、各地で詠まれた句にも触れるとよい。 5 「奥州藤原氏の栄華と、義経の最期」(P 139～140) を確認したうえで、平泉 (P 141～142) を読み、内容を大まかにつかむ。 6 「読み取る」設問①と③に取り組み、音読を通して表現や文体を読み味わい、二つの句に込められた作者の思いを読み取る。 7 「考えを深める」設問④に取り組み、「おくのほそ道」の構成の特徴やその効果について考えたことを話し合う。 * この学習材と併せて、資 P 291～『おくのほそ道』の旅を読み、歴史的背景や作者の思いを確認するのもよい。 * D この学習材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	<p>□ 作品冒頭や平泉の場面から芭蕉の思いを読み取っている。〔4の②、6の③〕 □ 文章と句が組み合わされていることの効果について、気づいたことを挙げている。〔7〕</p>
<p>論語 P 144 3 時間</p>	<p>伝・国ア (イ) 指 B(1)イ 指 C(1)エ</p>	<p>・古人の言葉を読み味わい、自分の文章に生かす。 ・古人の言葉を引用し、自分の考えを書く。</p>	<p>0.2 (10分) 0.8 (40分) 1</p>	<p>1 タイトル下 (P 144) や「てびき」(P 147) を見て、学習目標を確認し、学習の見通しを持つ。 2 「論語」の解説 (P 144) を読み、「論語」の成り立ちや概要を知る。 3 「論語」の言葉 (P 145～146) を読み、内容を大まかにつかむ。 4 「論語」のそれぞれの言葉について、「読み取る」設問①～② (P 147) に取り組み、音読を通して訓読の仕方に慣れ、</p>	<p>□ それぞれの言葉に表れている考え方を捉えたうえで、「論語」の言葉に当てはまるような体験や事例を挙げている。〔4の②、5〕 □ 座右の銘としたい古典の言葉を引用しながら、自分の考えを書いている。〔6〕</p>

					<p>孔子のもの見方や考え方を読み取る。</p> <p>* 古典コラム「漢文の読み方」を適宜参照し、返り点や置き字について確認する。</p> <p>1 5 「考えを深める」設問③に取り組み、「論語」の言葉に当てはまるような体験や事例を発表し合う。</p> <p>6 「書く」設問④に取り組み、「論語」の言葉や、古典コラム「古典の言葉」（P148～149）などから座右の銘としたい言葉の一つを選んで引用しながら、自分の考えを書く。</p> <p>* D この学習材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	
言葉 〈日本語探 検〉	言葉の移り変わ り P 150 1 時間	伝・国 イ（ア）	・言葉の変化について理解する。	1	<p>1 学習材（P150～151）を読んで、言葉の変化について理解する。適宜、漢字を確認する。</p> <p>2 「問題」（P151）に取り組む。</p>	<input type="checkbox"/> 音声の変化、文法の変化、語彙の変化など、言葉の変化について理解している。〔1～2〕
言葉 〈文法の窓〉	文法のまとめ ——怪盗Xから の挑戦状 P 152 1 時間	伝・国 イ（イ） 伝・国 2年イ（エ）	・文法的な性質の異なる語の見分け方を通して、文法の復習をする。	0.2 (10分)	<p>1 学習材（P152）を読んで、文法的な性質の異なる語を見分ける。また、「考えよう」に取り組む。適宜、漢字を確認する。</p> <p>* D この学習材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	<input type="checkbox"/> 文節や単語、品詞や活用形などについて理解し、文法的な性質の異なる語を見分けている。〔1～2〕
			0.8 (40分)	<p>2 基 P258～「文法のまとめ」を読んで、文法の復習をする。また、「問題」（P259）に取り組む。</p>		

11～12月 (9時間)							
	領域 (系統)	学習材名・ページ数・配当時数	学習指導要領との対応	学習目標	配分	学習活動例 (※は指導上の留意点や別案)	評価規準例 (〔 〕は学習活動例との対応)
6 関係を読む	読む (文学二)	故郷 P 154 5時間	指 C(1)イ 指 C(1)エ 〔伝・国イ (イ)〕 活 C(2)ア	・場面の展開と人間関係の変化を捉えて、作品を読み深める。 ・作品を読んで、社会の中で生きる人間について考え、自分の意見を持つ。	1	1 タイトル下 (P154) や「てびき」(P169) を見て、学習目標を確認し、学習の見通しを持つ。 2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字や語句を確認する。	□場面の展開と、個々の人物の特徴や人間関係の変化を捉えるとともに、「希望」について考えたことを挙げている。〔3〕 □小説中の人物に触れながら、社会の中で生きる人間の姿について、感じたことや考えたことをまとめている。〔4〕
					3	3 「読み取る」設問①～④ (P169) に取り組み、場面の展開と人間関係の変化を捉えて、作品を読み深める。 *「言葉の力 人間関係の変化に着目する」を読んで、登場人物の設定や、人間関係の変化について理解する。 *次の「人物どうしの関係に着目する」(P171/基P246～)を扱う際に、関連を意識させるとよい。	
					0.7 (35分)	4 「考えを深める」設問⑤に取り組み、社会の中で生きる人間について、感じたことや考えたことを四百字程度でまとめる。	
					0.3 (15分)	5 「広がる言葉/広がる漢字」(P170) に取り組み、語彙を増やし、漢字を確認する。 *資P306～「言葉を広げよう——古風な言葉」を見て、語彙を増やすための参考にするとよい。	
	学びの扉 (創造的な言葉の力/解釈する力)	人物どうしの関係に着目する P 171 1時間	指 C(1)イ	・人物の特徴や、人物どうしの関係の変化を捉える。	1	1 学習材 (P171) を読んで、文章中の二人の人物の特徴を捉える。 2 基P246～「人物どうしの関係に着目する」を読んで、人物の特徴や、人物どうしの関係の変化について理解を深める。また、「練習しよう」(P248) に取り組む。	□人物の特徴や、人物どうしの関係の変化を捉え、変化の理由や背景を考えている。〔1～2〕
	言葉 (漢字道場)	紛らわしい漢字 P 172 1時間	〔伝・国ウ (ア)〕 〔伝・国ウ (イ)〕	・形や音の似た、紛らわしい漢字に注意する。	1	1 「形・音の類似」(P172) を読んで、形や音の類似した漢字があることを知り、「問題」①に取り組む。 2 「三字以上の組」(P173) を読んで、三字以上の漢字がグループとなって、紛らわしくなっていることもあることを知り、「問題」②に取り組む。	□形や音の似た漢字、三字以上の組で似ている漢字など、紛らわしい漢字を識別している。〔1～2〕

読む 〈読書〉	何のために「働く」のか P 174 2 時間	指 C(1)オ 〔伝・国ウ (ア)〕 活 C(2)ウ	・ 読んだ本を振り返り、これからの読書生活への展望を持つ。	1	1 「本で世界を広げよう〈現代社会〉」のタイトル下 (P180)を見て、学習目標を確認し、学習の見通しを持つ。 2 「何のために『働く』のか」全文を通読し、「働く」ことの意味についてどう考えるか、ノートにまとめる。適宜、漢字を確認する。	□ これまでに読んできた本を振り返り、今後の読書の仕方を考えている。〔3〕
				0.8 (40分)	3 資 P 285「読書活動を楽しもう——読書生活を振り返ろう」を参考に、中学校生活で読んできた本を分類・整理して、読書の傾向を把握し、今後の読書の仕方を考える。 * これまで読んできた本を分類するための例として、「何のために『働く』のか」のテーマやジャンルを考えてみるとよい。	
				0.2 (10分)	4 「読書案内」(P180～182)を読み、今後の読書生活の参考にする。	

1～3月 (20時間)							
	領域 〈系統〉	学習材名・ページ数・配当時間	学習指導要領との対応	学習目標	配分	学習活動例 (※は指導上の留意点や別案)	評価規準例 (〔 〕は学習活動例との対応)
7 思いを馳せる	読む 〈言葉とメディア〉	いつものように新聞が届いた——メディアと東日本大震災 P184 3時間	指C(1)エ 〔伝・国イ(イ)〕	・情報の意義とメディアの役割について考えを深める。	1 1 1	1 タイトル下 (P184) や「てびき」(P194) を見て、学習目標を確認し、学習の見通しを持つ。 2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字や語句を確認する。 3 「読み取る」設問① (P194) に取り組み、文章の内容を読み取る。 4 「考えを深める」設問②～③ (P194～195) に取り組み、災害時における情報の価値やメディアの役割、伝え続けることの意義について話し合う。 *「言葉の力 情報をより深く捉える」(P194) を読んで、情報をより深く捉えるためのポイントを理解する。	□読み取ったことを踏まえて、災害時における情報の価値やメディアの役割、伝え続けることの意義について考えたことを挙げている。〔4〕
	学びの扉 〈論理的な言葉の力／議論する力〉	合意を形成する P196 1時間	指A(1)エ	・対立する意見について、合意の形成を目指して考えをまとめる。	1	1 学習材 (P196) を読んで、対立する二つの意見のよいところを取り入れて、新たな意見を考える。 2 基P243～「合意を形成する」を読んで、合意を形成する方法について理解を深める。また、「練習しよう」(P245) に取り組む。	□対立する意見の共通点や、それぞれのよいところを見つけたうえで、新しい案をまとめている。〔1～2〕
	話す・聞く 〈話し合う〉	話し合いで問題を解決しよう——チャート式討論 P197 4時間	指A(1)エ 指A(1)エ 〔伝・国イ(イ)〕 活A(2)イ	・話し合いが効果的に展開するように、進行の仕方を工夫する。 ・問題の解決に向けて、お互いの考えを生かし合う。	4	1 学習目標 (P197) を確認し、学習の見通しを持つ。 2 手順① (P198) に取り組み、論点を整理する練習をする。 3 手順②～④ (P198～201) に従って「問題」(P202) に取り組み、提示されている問題について、論点を整理しながらグループで討論する。 *「言葉の力 論点を整理する／お互いの考えを生かし合う」(P200、201) を読んで、論点を整理したりお互いの考えを生かし合ったりするためのポイントを確認する。 *前の「合意を形成する」(P196/基P243～) で学んだことを生かして取り組むとよい。 4 「学習を振り返ろう」(P202) を読み、学習を振り返って自己評価をする。	□論点を明らかにし、議論の順序をチャートに整理するとともに、話し合いの方向を捉え、必要に応じて軌道修正している。〔2、3の③～④〕 □異なる意見にも共通点を見つけようとし、問題解決のためお互いの意見のよいところを生かし合っている。〔3の④〕

書く 〈感性・創造〉	今の思いをまとめよう——時を超える手紙 P 203 5 時間	指 B(1)ア 指 B(1)ウ 〔伝・国イ (ア)〕	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校生活を振り返ったり将来を展望したりして、思いを手紙にまとめる。 ・下書きした手紙を読み返し、文章を整えて清書する。 	2 2 1	1 学習目標 (P 203) を確認し、学習の見通しを持つ。 2 手順①～② (P 204～205) に取り組み、「過去の人物」か「未来の自分」から選んで、手紙の宛先を決め、内容を考える。 *「言葉の力 書きたい内容を考える／手紙の書きだしと結びを整える」(P 205、206) を読んで、手紙に書く内容や、書きだしと結びの形式についてのポイントを確認する。 3 手順③～④ (P 206～207) に取り組み、「過去の人物」か「未来の自分」に宛てて手紙を書く。 *資 P 301 「手紙の書き方」を読んで、手紙の形式について確かめるのもよい。 4 書いた手紙を読み合い、よい点を伝え合う。 5 「学習を振り返ろう」(P 206) を読み、学習を振り返って自己評価をする。	<input type="checkbox"/> 中学校生活や将来について、自分の思いを見つめ直し、書きたい内容を絞って手紙にまとめている。〔2の②、3の③〕 <input type="checkbox"/> 下書きを読み返して書き間違いなどがないかを確認、手紙の形式を意識して文章を整え、丁寧に清書している。〔3の④〕
言葉 〈漢字道場〉	間違いやすい言葉 P 208 1 時間	〔伝・国ウ (ア)〕 〔伝・国ウ (イ)〕	<ul style="list-style-type: none"> ・読み間違えたり書き間違えたりしやすい言葉に注意する。 	1	1 「読み間違えやすい言葉」(P 208) を読んで、読み間違えやすい言葉があることを知る。また、複数の読み方がある言葉もあることを知り、「問題」①～②に取り組む。 2 「書き間違えやすい言葉」(P 209) を読んで、書き間違えやすい言葉があることを知る。また、複数の書き方のどちらも認められている言葉もあることを知り、「問題」③～⑤に取り組む。	<input type="checkbox"/> 読み間違えやすい言葉や書き間違いやすい言葉について理解している。〔1～2〕
読む 〈詩 (詩の言葉)〉	レモン哀歌 P 210 1 時間	指 C(1)ア 指 C(1)エ 〔伝・国イ (イ)〕	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な言葉の使い方に注意して詩を読む。 ・詩に描かれた生と死について考え、感想を持つ。 	0.2 (10分) 0.8 (40分)	1 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。 2 この詩の言葉で心に残ったところを挙げて、そこにどんな表現効果が感じられるかを話し合う。 3 この詩に描かれている生と死について考え、感想をまとめる。	<input type="checkbox"/> 詩の言葉で心に残ったところを挙げ、そこにどんな表現効果が感じられるかを指摘している。〔2〕 <input type="checkbox"/> この詩に描かれている生と死について考え、感想をまとめている。〔3〕
	生ましめんかな P 212	指 C(1)ア	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な言葉の使い方に注意して詩 	0.2 (10分)	1 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。	<input type="checkbox"/> 詩の中の二つの言葉の違いに着目し、それぞれの表現の効果や

		2時間	指 C(1)エ 〔伝・国イ (イ)〕	を読む。 ・詩に描かれた生と死について考え、感想を持つ。	1.8 (90分)	2 この詩の中の「私が生まれましょう」と「生まれめんかな」の言葉の違いに着目し、それぞれの表現の効果や役割について考える。 3 この詩の最後の三行について、感じたことや考えたことをまとめ、話し合う。 * 「レモン哀歌」と「生まれめんかな」の二編を読んでの感想や考えをまとめる学習に取り組むのもよい。	役割を指摘している。〔2〕 □この詩の最後の三行について感じたことや考えたことをまとめている。〔3〕
読む 〈読書〉	最後の一句 P 214 3時間	指 C(1)エ 〔伝・国イ (ア)〕	・文学作品を読み、人間や社会について考える。	1 1 0.6 (30分) 0.4 (20分)	1 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字を確認する。 2 「いち」の最後の言葉についてどう考えるか、話し合う。 3 話し合いを踏まえて、感想や考えを述べ合う。 4 「作家と作品」(P 229)を読み、森鷗外について知る。 5 「読書案内」(P 230～232)を読み、今後の読書生活の参考にする。 * 〔資〕P 284～「読書活動を楽しもう」に示された読書活動に取り組むのもよい。	□「いち」の最後の言葉をもとに、人間や社会について考えたことを挙げている。〔2～3〕	